

ニホンナシの収穫期予測

<気温経過と生育>

本年の主要品種の発芽は平年より6～8日早く、3月後半から4月前半にかけて気温が平年より高く推移したことから、開花始めは平年より9日～11日早く、生育が前進した。満開後30日間の平均気温は平年よりもやや高く推移している（表1左）。

<収穫期の予測>

「幸水」、「豊水」および「南水」の成熟日数はそれぞれ126日、145日および156日となり、本年の収穫始めは8/16、8/31および9/9と予測された（表1右）。なお、この予測日は満開後30日間の平均気温を基にした予測である。収穫適期の判断は、各品種の満開後日数を目安に成熟状況（果皮色、内部品質）を注視して行う。

表1 ニホンナシ主要品種の収穫始期の予測（南信農業試験場、2023年）

品 種	満開日		満開後30日間の平均気温(°C)		収穫始め				
	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年 (予測)	平 年	平年差	昨年実測	昨年差
幸 水	4/12	4/23	14.1	13.6	8/16	8/23	- 7	8/19	- 3
豊 水	4/8	4/20	13.6	12.7	8/31	9/7	- 7	8/30	+ 1
南 水	4/6	4/18	13.4	12.4	9/9	9/17	- 8	9/8	+ 1

予測値は満開後30日間（満開日含む）の平均気温（南信農業試験場内）から算出した（-は早い、+は遅い）。
平年値は平成13年～令和2年(2001～2020年)までの20年間の平均値。
この予測は2023年5月11日現在の予測であり、今後の気象の推移により変動する。

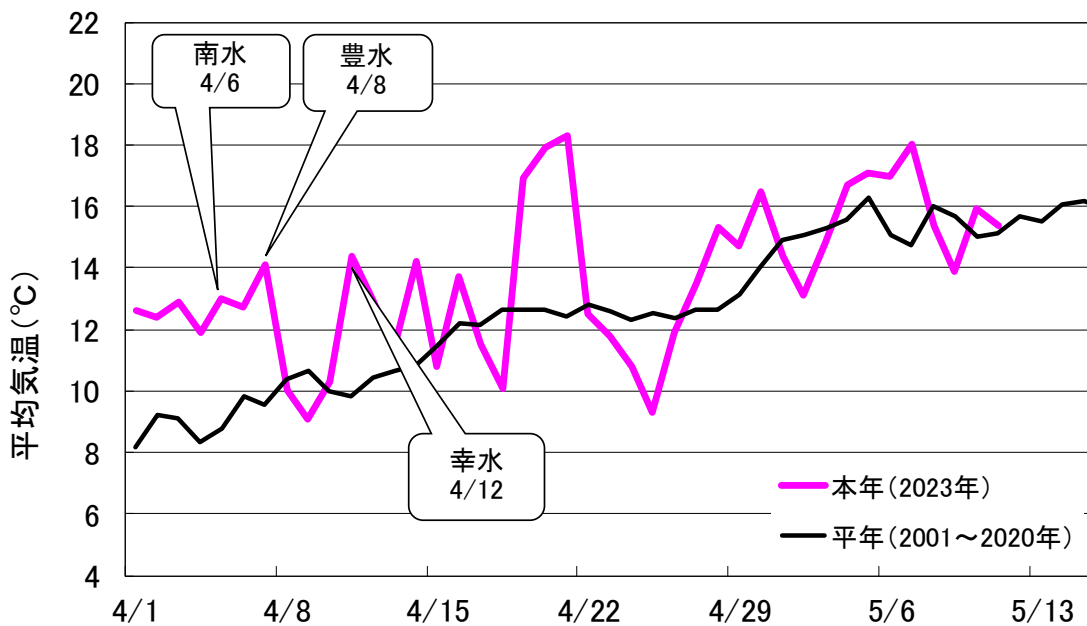


図1 主要品種の満開日開花～幼果期の平均気温の推移(南信農業試験場、2023年)